

## 目標達成計画

作成日: 令和6年3月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者の思いや意向の把握については、日頃より情報収集はおこなっているため問題視していない。しかし、その情報については個人カルテへの記入はされず、口頭での情報共有に留まっている部分が多い。そのため新しい情報などが共有できていないことが多い	入居者との会話などから知りえた情報などは関係する全職員で情報共有し入居者の支援にも役立てれるよう細かな事でも電子カルテへ入力することを徹底する	①1日の中で10分間程度時間を設ける。 ②入居者からに限らず知りえた情報などは電子カルテへ入力	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針については入居時にご家族へ契約時に説明はおこなってはいる。しかしご家族様へのアンケートでは知らない家族が多い結果が出ているため説明方法を見直す必要がある	ご家族の認識・理解という部分において不十分などところがあるため、ご家族に理解をしていただくために面会・広報・SNSも活用しグループホームでの看取りについての理解を浸透していく	①面会の頻度が多い家族→面会時 ②遠方在住、面会が少ない→広報・SNS	2ヶ月
3	35	自然災害時のBCP(業務継続計画)に基づき避難時に入居者が施設以外で生活する状況になった際現状、必要備品の準備が不十分であること、職員全員誰もが持ち出せる場所へ保管し周知しておく必要がある	最低限必要な生活備品(飲食物以外)の購入を法人へ依頼。災害が発生したとき関係職員の誰もがすぐに取り出せる場所へ保管しておく	①準備出来ていない備品をピックアップし購入を依頼。②備品ごとに持ち出しやすいようケースに分けて保管。③災害を想定した避難訓練時に実際にスムーズに持ち出しが可能な検証する	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月